

さくら市議会だより



2008. 2. 1
〈平成20年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508

12月定例会

佐倉市営住宅管理条例の

一部を改正する条例制定など

21議案を可決

12月定例会は12月3日から21日までの19日間にわたり開かれました。今定例会では、「平成19年度佐倉市一般会計補正予算」など議案21件が提出され、可決同意しました。請願・陳情については「妊産婦健康診査の無料受診回数をややすことを求める請願」など12件（うち継続審査案件3件）、議員発議については「割賦販売法の抜本的改正を求める意見書」など10件を提出し審議しました。

一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に15人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



同頃の疑問や提言が出されたこども議会

第2回 こども議会 開催

11月7日（水）、こども議会が佐倉市議会本会議場で開催され市内11小学校から22名の児童たちが議長、副議長、議員となり議会の役割や地方行政の仕組みについて学習しました。

開会にあたり、蕨市長、望月市議会議長の挨拶があり、引き続き一般質問が行われました。

市議会議員や引率の先生が傍聴席で見守る中、小学生議員は「佐倉市の税金について」や「ゴミの不法投棄について」「災害時の水の対策について」など、生活や地域の身近な問題について幅広い分野にわたり質問を行いました。

これに対し、市長・部長・課長など執行部が答弁をし、本会議さながらのやりとりが行われました。

先進事例



①豊橋市では、「とよはし元気ポットみんなでつくる健康情報センター」について視察。子供から大人まで市民が気軽に健康情報を入手し、その情報を活用して健康づくりの交流を深めることをねらいとしている。

②犬山市では「学びの学校づくり」について視察。学習集団の小規模化により、授業改善を促進し、一人一人の子供の個性を引き出すことに力を入れている。



「豊橋市役所会議室」にて（視察日 10月9日から10日）

①神戸市では「住まいの耐震化促進事業」について視察。平成七年の阪神大震災の経験から、住まいの耐震化に力を入れ、住まいの耐震診断員派遣事業や耐震改修事業等を実施している。

②明石市では「交通バリアフリー基本構想」について視察。市域の交通バリアフリーに関する目標や、重点整備地区や移動経路の設定等、具体的な施策を明らかにしている。



「明石市役所会議室」にて（視察日 10月30日から31日）

①近江八幡市では、「景観農業振興地域整備計画」について視察。水郷風景と調和し魅力ある農業地域をつくるため、同計画を設定。風土に適応した営みや暮らし等により、文化の伝承などの多面的機能を維持している。

②彦根市では「まちなか観光21」について視察。彦根城西側に夢京橋キャッスルロードと四番町スクエアの二つの商店街が誕生している。夢京橋は城下町の風情を損なうことのないよう、伝統的な町並みを再生している。



近江八幡市役所前にて（視察日 10月10日から11日）

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたる質問をいいます。

12月定例会では、10日から15日までの4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(2月中旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(2月中旬配信予定)をご覧ください。

代表質問

さくら会 小林右治 市の財政状況の市民への説明責任について

財政健全化推進にあたり、長期総合計画に長期財政計画の記載、年度の財政状況は従来の様に単に開示するだけでなく、経年的にグラフ等を用いたり、目的別歳出・性質別歳出のクロス表をもちいて市民へ透明度を上げてわかりやすく説明すべきと考えるがいかかか。

将来の財政推計を見込んだ中で、一定条件設定での推計となるが、より解かりやすい総合計画の策定という観点から検討していく。

子育て支援システムの整備

全市的に①地域子育て支援センター②児童保育所③保育園増設をスピードを上げてやり遂げるべきと考えるが。

①なお一層努力していく。②未整備は五学校区であるが保育需要等把握するなかで整備を進めたい。③王子台地区、中志津地区の市有地を社会福祉法人に無償で貸与し、公募条件を見

公明党

神田徳光

我が国は少子化と高齢化が急速に進み特に地方部の低下といった問題が深刻化している。住民の生活が多様化し公共交通機関は日常生活に欠かせないものである。隣町ではデマンド交通システムを取り入れている。このシステムなら必要な時に必要な運行を行うので効率的なシステムではないか。是非とも本市にも導入してもらいたいと思うがこれまで取り組みについて考えているか、また、見直しについてはどうか。

地域公共交通会議の設置を進めており、本年度中には会議を開催したい。そして早期実現に向け努力していきたい。

不祥事等の防止について

公務員は、貴重な税金を財源として国民の為、公共の福祉の為に働くという使命を持つていて、過去の苦い教訓を踏まえ日頃からの様な防止策を講じているのか。ことに、清掃組合や年金着服の例でもわかる通り、目の前の現金は特にその取り扱いに注意を払わねばならないと考えるが、各職場での現金の管理はどの様にしているのか。

佐倉市職員倫理要綱及び職員倫理マニュアルの整備、佐倉市市政に職員が受けた働きかけの取り扱いは関係する規則を定めている。現金を直接取り扱う部署は所属長に出納員を命じ、必要により出納員のもとに委任出納員あるいは現金取扱員を置き現金の収納事務を行っている。今回の清掃組合の公金紛失事件

トイレの洋式化・グラウンドの再整備は、実施計画に位置づけ計画的整備を図る必要がある。ごみ減量化のため報償金を上げるべきと考えるが。

古紙類等の市場価格を考慮し判断していく。

志津霊園道路問題

平成15年5月に結んだ「基本合意書」の代替地及び造成計画等の内容変更を検討しているのかどうか。

内容変更は考えていない。11月29日に副市長が本昌寺を訪ねた理由と交渉内容は。「嶋田組との和解金400万円は市が支払え」という寺側の要求に対して再考を求める交渉を行った。寺はあくまで「市に替わって立て替えた。市が返還するまでは交渉の余地はない」と主張をしている。今後、市長が出向き、市は負担できない旨を改めて伝え、寺の再考を求める。他の4カ寺との交渉状況は。5カ寺でつくる志津霊園会の代表が本昌寺である。本昌寺が市と他の4カ寺との交渉を止めているため行われていない。

障がい者の庁内就労及び一般就労支援について

知的障がい者の庁内就労に際して具体的な検討の進捗状況及び「研究会」のメンバーや方向性について伺う。

今年度中に障害福祉課・商工観光課・職員課・政策調整課10名程度で「研究会」を設置する。担当者の意識統一、関係団体との意見交換、先進自治体の事例研究、県の担当者を招いて所属長を対象とした研修などを計画。

一般就労へ向けての商工会議所や工業団地連絡協議会との協議、ハローワークと連携を求めたいか。

各種会議を通じて障がい者就労に関する制度を周知し商工会議所等に協力を求める。ハローワークとも一層の連携を図る。

日本共産党

正統保育士の増員について

現在保育園では151名が入園している。市は地域における多様な子育て支援のニーズに応える姿勢を示し、その役割を保育園にもたせている。正統の保育士が臨時保育士の半数以下という現状で子供達に安定した保育環境を保障できるのか。ギリギリの人数での運営を改善すべきと思うがどうか。

臨時保育士にも資格保有者を採用している。職員の関係は関係部署と協議していく。

佐倉教育ビジョンについて

「佐倉の教育を市民と共に進めていく」との基本方針の基に行われている教育ミ二集会にどんな成果があるか。

又、佐倉市学習状況調査が4年にわたって実施され、結果の事業活用がされているが、全国いっせいの学力調査と重複するのではないか。学校・教師・子どもへの負担を考慮して来年の全

新社会党

敬老会で市長が発言した「高齢者の施策を元に戻す努力をする」についての内容を問う

敬老会での発言は、高齢者関係の事業の抑制や廃止が多数ある中で、市長は過日の敬老会の席上で「高齢者の施策を元に戻す努力をする」と発言しているが、その発言は重たいものがある。その決意と内容並びに公表について聞きたい。

財政状況を勘案する中で、元に戻したほうが高齢者福祉に役立つものは戻し、少しでも高齢者の皆様に喜んでいただけるような施策の推進に努めてまいりたい。担当課に集中改革プランの見直しを指示しており、その結果について市民に公表してまいりたいと考えている。

地域公共交通会議の進捗状況について

公共交通機関のバス運行は、地域住民の足の確保と同時に、地域の発展と地域と地域を結ぶコミュニティの大きな役割を果たしている。一日も早く交通不便地区の解消と公共交通を結ぶ循環バスの運行が望まれる。その為の地域公共交通会議は全国で143自治体が設置されている。佐倉市の進捗状況を聞く。

市内の交通が不便な地域の解消や公共施設等の利便の向上を図るため、地域公共交通会議を早期に設置し、具体策を進めてまいりたい。設置の進捗状況は、既に佐倉市地域公共交通会議設置要綱を策定し、現在協議会委員の選出を行っている。本年度中には第1回目の会議を開催し、その後も随時開催する予定である。なお、これまで議会や地域などからの意見や要望については会議に提起して行く。

佐倉市民オンブズマン

市職員総実労働時間数は?

市職員全体の労働時間数は勤務形態の多様化などで集計していない。平成18年度の平均的実労働時間は180(時間外108を含む)時間になる。

JR佐倉駅には市の出張所も無いが自動交付機設置は?

JR佐倉駅では年間5000件の自動交付機利用が見込め、1件当たり969円の経費となる。設置は今後の検討課題とする。

ゴミ処理の一括有料化は単なる増税と同じではないか?

有料化はゴミ減量等実施者、生活保護世帯への対応、不法投棄対策等総合的に検討を進める。

宮ノ台3丁目跨線橋近くの道路は生活、通学路でもあり、質の高い街づくりの観点から安

市長の政治姿勢

道路の安全対策は市の責務である。引き続き地元住民と協議して安全確保に努めたい。

臨時職員公募の公表は?

現在各課で公募しているが、募集状況が職員課のHPでわかるような工夫をして行きたい。

各保険決算・予算比較は?

一般会計からの繰出しは国保で23億円増、介護保険で26億円増、後期高齢者医療で96億円増、老人保健で56億円減。合計約9億円増の見込みである。

備品整備等も市民の意見を良く聞いて対応し、年に二度の大掃除は市で対応できないか?

器具の故障時は迅速な対応に努め、機械操作は施設職員が熟知に努める。施設の清掃は利用者の提案により、利用者が共同で施設清掃を行っている。

好評な味噌造りについて

備品整備等も市民の意見を良く聞いて対応し、年に二度の大掃除は市で対応できないか?

器具の故障時は迅速な対応に努め、機械操作は施設職員が熟知に努める。施設の清掃は利用者の提案により、利用者が共同で施設清掃を行っている。

用語解説

【教育ミ二集会】各学校の学区ごとに、学校と地域が子どもたちの教育に連携して取り組むことができるよう地域の实情に応じて集会を持つこと。

集中改革プランで高齢者関係の事業の抑制や廃止が多数ある中で、市長は過日の敬老会の席上で「高齢者の施策を元に戻す努力をする」と発言しているが、その発言は重たいものがある。その決意と内容並びに公表について聞きたい。

財政状況を勘案する中で、元に戻したほうが高齢者福祉に役立つものは戻し、少しでも高齢者の皆様に喜んでいただけるような施策の推進に努めてまいりたい。担当課に集中改革プランの見直しを指示しており、その結果について市民に公表してまいりたいと考えている。

公共交通機関のバス運行は、地域住民の足の確保と同時に、地域の発展と地域と地域を結ぶコミュニティの大きな役割を果たしている。一日も早く交通不便地区の解消と公共交通を結ぶ循環バスの運行が望まれる。その為の地域公共交通会議は全国で143自治体が設置されている。佐倉市の進捗状況を聞く。

市内の交通が不便な地域の解消や公共施設等の利便の向上を図るため、地域公共交通会議を早期に設置し、具体策を進めてまいりたい。設置の進捗状況は、既に佐倉市地域公共交通会議設置要綱を策定し、現在協議会委員の選出を行っている。本年度中には第1回目の会議を開催し、その後も随時開催する予定である。なお、これまで議会や地域などからの意見や要望については会議に提起して行く。

個人質問

墓地経営は民間営利法人が行ってよいのか

中原英雄

市内先崎に「合掌の郷」という墓地がある。この経営の実態に数々の疑惑がある。悪質な名義借りではないのか。

条例に規定している墓地の経営者は、地方公共団体又は市内に主たる事務所を有する宗教法人であり、民間営利法人からの経営の申し出は許可しない。宗教法人が公益事業として経営を自ら行うと判断し当時の許可申請に不備はないと考えている。

志津霊園道路開通による経済効果について

さくら会 白井尚夫

志津霊園道路開通による経済効果は。

地域の商業経済の活性化等に寄与するものと想定される。西志津スポーツ等多目的広場と高齢者の健康づくり

高齢者の健康づくりは。

スポーツ広場における高齢者の健康づくりにご尽力を賜り御礼申し上げます。今後とも地域

による地域の人のための活動として充実発展する事を期待する。

を検討したい。②計画の趣旨を周知し、多様な青少年健全育成を推進する機会の拡充に努める。

スペースが問題となる。また輸送、維持管理等の観点からも今後の研究課題とする。

は総合的評価方法を検討し、第三者機関等の評価も視野に入れ、市民に定期的に公表していく。

市役所一号館脇の障害者用駐車場に、モデルケースとしてハートプラスマークなどを加えた表示板を設置していく。

18年度末の認定世帯数は93世帯で増加傾向。ひとり親家庭自立支援員の設置や保育等の日常生活支援策の準備を進める。

財源の新規開発について

佐倉市民オンブズマン 上ノ山博夫

公約にある多額の財源不足を埋める為の財源新規開発は？

優良企業本社機能を誘致し、地域住民の雇用拡大と、成長産業への育成支援により財源の増加が図られるものと考えます。

障害者用マーク掲示について

内部障害者の為のハートプラスマークを掲示すべきだが。

モデルケースとして市役所障害者用駐車場に設置を考えている。また広報紙で障害に関する知識の一層の普及に努める。

青少年健全育成について

公明党 岡村芳樹

市は昨年青少年育成計画を策定、全庁的取り組みに着手した。そこで以下の点について伺う。①各地区で定期的に(仮称)青少年フォーラム等を開催し、情報交換等をする事も必要では？②商工会議所等諸団体にも積極的に周知、協力を得ては？

①青少年フォーラムは大変有益な機会と考える。今後開催

化学物質過敏症対策について

市民ネットワーク 伊藤壽子

農薬散布等による被害者が出ていますが、国の通知「住宅地等における農薬使用について」「農業危害防止運動の実施について」を踏まえた具体的対策、学校や街路樹等での農薬使用減のための取組みについて伺う。

広報紙で周知するとともに、パンフレット、HP等での啓発を今後検討する。予防散布ではなく害虫の発生状況に合わせて使用。学校ではH14年度より三〇四割農薬使用を減らしている。

いじめ・市内小中学校で713件

新社会党 勝田治子

どんなにいじめられたかという理由にはならない。文科省が発表した昨年のいじめの認知数は全国で約12万5千人。教育委員会や学校だけでは対応できない現状がある。「子ども部」のような庁内組織を立ち上げ、青少年の健全育成の推進を求める。

行政組織の設置は全庁的視野で取り組まねばならない。現在、組織の見直しをされており、提言として前向きに考える。

指定管理者制度の現状と今後について

市民ネットワーク 五十嵐智美

JR佐倉駅北口活性化に向け、現在、高崎川南公園に設置されているSLを北口に移動し展示したらどうか。

観光資源活用観点からすばらしいアイデアであると考えられる。これによりJR佐倉駅北口の新しいシンボルになることも十分考えられる。しかし、北口はロータリーや噴水が整備され、

妊婦健康診査の無料化を！

公明党 柏木恵子

経済的負担の軽減、安全な出産のために公費負担の回数増と早期の全健診無料化を望む。

平成20年度から公費負担を5回に増やしていく。

複数年表示の取組みを！

市役所駐車場を障害者マーク等複数マーク表示のモデルとして欲しいかがか。

ひとり親家庭への支援を積極的に進めるべきではないか

市民ネットワーク 入江晶子

給付から自立支援への政策転換によって児童扶養手当が削減される。現行の対策では不十分であり、ひとり親家庭の生活全般を支え就労へ結びつけるための支援に重点的に取り組むべきではないか。母子家庭の世帯数と今後の支援策について伺う。

後期高齢者医療制度については、昨年6月に従来の老人保健法が改正され、その規定に基づき実施されるもので、地方自治体である佐倉市としては、法律の定めるところにより、事務を執行すべきものと考えている。

後期高齢者医療制度の撤回中止

日本共産党 兒玉正直

後期高齢者医療制度は、問題・課題が山積みで、説明もなし。制度維持も疑問であり、こんなひどい制度は到底許されぬ。制度の撤回・中止を求め、市長の考えは。

議員定数を削減すべき

村田穰史

行政改革を進めていく上で、市民の皆様のご理解とご協力をいただく為にも、議員自身に厳しい目標を課す事が必要であると考える。現在の佐倉市の状況にあった議員定数の設定が必要である。すなわち、定数削減をすべきと考えるが、市長はどのように考えるか。

現在の議員定数30人は、過去の議会で決定された定数であり、その意味で意義があるものと考えている。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間2時間、()内は会派名

小林 右治 (さくら会) ※

- 1 市長の政治姿勢について 2 子育て支援対策について
3 高齢者福祉について 4 健康増進対策について
5 地域の特性を活かした個性あるまちづくりについて
6 購入制度の改革について 7 教育について
8 ゴミ施策について 9 道路問題について

神田 徳光 (公明党)

- 1 来年度予算要望について 2 不祥事等の防止について
3 教育問題について

工藤 啓子 (市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢について
2 佐倉市振興協会の解散に伴う市への影響について
3 志津霊園道路問題に関わる課題と方向性について
4 障がい者の庁内就労及び一般就労支援について

萩原 陽子 (日本共産党)

- 1 市長の政治姿勢について 2 子育て問題
3 教育問題 4 障がい者自立支援について

藤崎 良次 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 職員の実労働時間、ごみ処理有料化等への市長の政治姿勢他
2 新年度予算と前年度決算について
3 市政運営について 4 市民支援について

冨塚 忠雄 (新社会党)

- 1 敬老会で市長が発言した「高齢者の施策を元に戻す努力をする」についての内容を問う
2 地域公共交通会議の進捗状況について 3 井野長割遺跡の活用について
4 江原台二丁目の区画整理組合事業施工の土留擁壁は安全か

個人質問

中原 英雄

- 1 墓地経営は民間営利法人が行ってよいのか名義借りの行為を含めて問う

白井 尚夫 (さくら会)

- 1 政策の選択と市民のコンセンサス(同意)について
2 志津霊園区間の道路開通について
3 西志津スポーツ等多目的広場について 4 高齢者の健康づくりについて

上ノ山博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 花火大会、財源の新規開発等、市長の政治姿勢について
2 全国学力調査等教育問題について
3 「こうほう佐倉」紙面改善他について

岡村 芳樹 (公明党)

- 1 環境問題 2 青少年健全育成 3 いじめ問題

伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- 1 後期高齢者医療制度について 2 化学物質過敏症対策について
3 妊婦健康診査助成について

小須田 稔 (公明党)

- 1 商工観光振興について 2 市政等の広報対策について
3 防災問題について 4 安心・安全なまちづくりについて

勝田 治子 (新社会党)

- 1 介護保険に関する改善点について
2 市立図書館及び学校図書館の充実について 3 いじめ問題について

五十嵐智美 (市民ネットワーク)

- 1 地域福祉計画について 2 指定管理者制度について
3 介護保険改定に伴う諸問題の現状と今後の対応について

山口 文明 (さくら会)

- 1 佐倉市の将来を見すえて 2 生活道路の整備について
3 健康診査について

柏木 恵子 (公明党)

- 1 妊婦及び乳幼児健診について 2 人に優しいまちづくりについて
3 教育問題について

平野 裕子 (さくら会)

- 1 平成20年度当初予算について 2 福祉について
3 女性の健康について 4 公共交通について 5 教育について

入江 晶子 (市民ネットワーク)

- 1 ひとり親家庭への支援策の現状と今後のあり方について
2 補助金・交付金等の抜本的な見直しについて
3 「全国学力・学習状況調査」が学校現場に与える影響について

森野 正 (公明党)

- 1 入札について 2 事務執行の問題点について
3 耐震改修促進計画について

兒玉 正直 (日本共産党)

- 1 平成20年度予算編成について 2 後期高齢者医療制度について

村田 穰史

- 1 議員定数について 2 市道I-32号線について
3 行政サービス及び施策について 4 花火大会について

◎上記の通告内容は、佐倉市議会会議規則第60条に基づき質問者から議長に文書で通告のあった内容を基に、大項目のみ掲載しています。

行政改革を進めていく上で、市民の皆様のご理解とご協力をいただく為にも、議員自身に厳しい目標を課す事が必要であると考える。現在の佐倉市の状況にあった議員定数の設定が必要である。すなわち、定数削減をすべきと考えるが、市長はどのように考えるか。現在の議員定数30人は、過去の議会で決定された定数であり、その意味で意義があるものと考えている。

12月定例会の議案と議決結果 (議決 12月21日)

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数、△賛成少数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号

① 平成19年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ1億8800万8000円を増額するもので、予算総額は、391億1006万9000円。歳出予算の内容は、国民健康保険特別会計への赤字補てんのための繰出経費の増額が主なもの。歳入の主なものは、財政調整基金繰入金等を計上。債務負担行為の補正については、庁舎警備業務等平成20年度において4月当初から実施する業務で、平成19年度中に入札契約を行うものについて追加するもの。地方債の補正については、臨時地方道整備事業債等の追加を行うもの。	原案可決	○
② 平成19年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ5億4281万3000円を増額するもので、歳出予算の主な内容は、保険給付費の増。	原案可決	○
③ 平成19年度佐倉市交通災害共済事業特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ152万円を増額するもので、歳出予算の内容は、共済見舞金の増。	原案可決	◎
④ 平成19年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ235万9000円を増額するもので、歳出予算の主な内容は、消費税納付額の増。債務負担行為については、平成20年度における施設維持管理業務のうち4月当初から実施する業務について設定するもの。	原案可決	◎
⑤ 平成19年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算 平成20年度における施設維持管理業務のうち4月当初から実施する業務について債務負担行為を設定するもの。	原案可決	◎
⑥ 平成19年度佐倉市介護保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ6787万7000円を増額するもの。歳出予算の主な内容は、保険給付費及び前年度分の精算に伴う国県支出金に係る償還金の増。	原案可決	○
⑦ 平成19年度佐倉市水道事業会計補正予算 人事異動及び給与改定に伴い、189万1000円を増額するもの。債務負担行為の補正については、次亜塩素酸ナトリウム購入に係る限度額の変更等。	原案可決	○
⑧ 一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について 平成19年4月1日から、給与改定を行おうとするもの。	原案可決	◎
⑨ 佐倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について 国民健康保険法等が改正されたことに伴い、医療制度改革の一環として平成20年度から実施する事項などについて、条例を改正するもの。	原案可決	○
⑩ 佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について 地方税法の改正に伴い、年金受給者のうち一定の要件に該当する方について、介護保険保険料の徴収に準じて、国民健康保険税の徴収方法を普通徴収から特別徴収に切り替えようとするもの。	原案可決	○
⑪ 佐倉市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について 市営住宅の入居者及び周辺住民に対する生活の安全と平穏の確保、公営住宅制度への信頼確保等の必要から、暴力団員の市営住宅への入居を制限するもの。	原案可決	○
⑫ 佐倉市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について 宮ノ台1丁目地区及びユウカリが丘2丁目地区に地区計画が導入されたことに伴い、これらの地区に定められた建築物の制限を追加するもの。	原案可決	◎
⑬ 佐倉市道路線の認定について 大蛇町地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑭ 佐倉市道路線の認定について ユウカリが丘7丁目地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑮ 佐倉市道路線の廃止について 市道として未整備であった上志津地先の1路線を廃止するもの。	原案可決	◎
⑯ 佐倉市道路線の変更について 大蛇町地先の1路線を変更するもの。	原案可決	◎
⑰ 佐倉市さくらんぼ園の指定管理者の指定について 平成20年4月1日から平成23年3月31日までの3年間、社会福祉法人千手会を、さくらんぼ園の指定管理者として指定するもの。	原案可決	○
⑱ 佐倉市中心障害者福祉作業所よもぎの園の指定管理者の指定について 平成20年4月1日から平成23年3月31日までの3年間、社会福祉法人愛光を、よもぎの園の指定管理者として指定するもの。	原案可決	○
⑲ 佐倉市飯野台観光振興施設の指定管理者の指定について 平成20年4月1日から平成24年3月31日までの4年間、株式会社塚原緑地研究所を、飯野台観光振興施設の指定管理者として指定するもの。	原案可決	○
⑳ 監査委員の選任について 監査委員の滝沢信(たきざわしん)氏が、来年2月5日付で任期満了となることに伴い、後任として船越豊(ふなこしゆたか)氏を選任すること。	同意	○
㉑ 岩名運動公園陸上競技場全天候型舗装改修工事請負契約について 改修工事について1億1602万5000円をもって東亜道路工業株式会社千葉支店と請負契約を締結するもの	原案可決	○

請願・陳情 ※丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

⑧ 妊産婦健康診査の無料受診回数をふやすことを求める請願	採 択	○
⑨ 妊婦健康診査の無料化を求める請願	採 択	○
⑩ 日豪EPA/FTA交渉に対する請願	採 択	◎
⑪ 悪質商法被害をなくすための割賦販売法改正を求める意見書提出に関する請願	採 択	○
⑫ 悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願	採 択	○
⑬ 悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願	採 択	○
⑭ 青森県六ヶ所村核燃料再処理工場本格稼働の中止と、放射能海洋汚染放出規制法の法整備を国に求める請願	不採 択	△
⑩ 志津公民館にエレベーター設置に関する陳情	不採 択	△
⑪ 高齢者が安心して医療を受けられるよう国への意見書提出を求める陳情	不採 択	△

〈閉会中の継続審査となっていた請願・陳情〉 丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

① 最低保障年金制度の実現を国へ要請する意見書採択を求める請願	採 択	○
③ 議案に対する会派、議員の賛否公表を求める陳情	不採 択	△
④ 市議会のインターネット中継を求める陳情	不採 択	△

議員発議 ※丸数字は発議案番号

① 割賦販売法の抜本的改正を求める意見書	原案可決	◎
② 最低保障年金制度の実現を求める意見書	原案可決	○
③ 日豪EPA/FTA交渉に対する意見書	原案可決	◎
④ 「二万円米価」保障を求める意見書	否 決	△
⑤ 「全国学力・学習状況調査」の中止を求める意見書	否 決	△
⑥ 「後期高齢者医療制度」四月実施の「中止・撤回」を求める意見書	否 決	△
⑦ 「生活保護基準額引き下げ」の撤回を求める意見書	否 決	△
⑧ 地方交付税の確保・充実に関する意見書	否 決	△
⑨ 児童扶養手当制度の充実に関する意見書	否 決	△
⑩ 取り調べの可視化の実現を求める意見書	原案可決	○

2月定例会の予定 議会を傍聴してみませんか

- ◆ 初 日 2月18日(月) 午後1時から
 - ◆ 一般質問 2月25日(月)～28日(木) 午前10時から
 - ◆ 予算委員会 3月3日(月)～6日(木)
 - ◆ 常任委員会 3月7日(金)、10日(月)～12日(水)
 - ◆ 最終日 3月14日(金) 午後1時から
- ☆日程は変更になることもありますので、事前にお問い合わせください。
議会事務局 ☎484-6279

お茶の間でもご覧になれます

ケーブルネット296の5チャンネルでは、本会議の様態を翌日に放送します。

【放送予定】

- ◆ 初 日 2月19日(火) 午後5時30分から
 - ◆ 一般質問 2月26日(火)～29日(金) 午後5時30分から
- ※番組の始めに各議員の放送時間帯をお知らせいたします。
- ◆ 最終日 3月15日(土) 午後5時30分から



佐倉市議会のホームページも
ご覧ください



佐倉市のホームページからどうぞ!
<http://www.city.sakura.chiba.jp>

佐倉市議会 をクリックしてください

議会百景

議場では、傍聴席から議員席は見えにくい。議員席からも傍聴席は見えにくい。この両方を体験してまだ距離があるなど実感。身近な議会にするために必要な第一歩は、情報の公開度を高めていくことが大事だと思いましたが、この議会だよりもその一つ。掲載の内容や紙面づくりなどを工夫して、読まれる「議会だより」になるよう委員として努力していきます。

(議会報編集委員 五十嵐智美)

緑豊かな街、佐倉市にも確実に地球温暖化と食料不足はせまっています。農業の役割はこれから大きくなっていくでしょう。ところが農業の後継者不足は深刻で、過疎化・高齢化による不耕作農地は増える一方です。私達は安全な日本の米や野菜をいつまで食べ続けられるのか、今、瀬戸際まで来ていると思います。若者や障がい者の雇用と農業を結びつけることはできないかと考えています。

(議会報編集委員 萩原陽子)